

令和元年度 公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム
短期集中講義「ふじのくに学（防災）」募集要項

1 実施科目

ふじのくに学（防災） 科目提供大学：静岡大学

2 講義内容

自然災害が起こるメカニズムを学び、防災対策の現状を把握するとともに、発災時の対応について、より早急な復旧・復興の仕組みを学び、より被害を低減する防災対策について考える。

（「静岡県ふじのくに防災士養成講座」とタイアップする形式で実施する）

3 講義計画及び期間

<必修講義、必修演習>

単位数：2

日程	科目	講師等	時間	会場	
9月3日 (火)	1 <単位互換授業> オリエンテーション	岩田 孝仁 静岡大学防災総合センター長、教授	30	10:00～10:30	静岡県立大学 大講堂等 (静岡市駿河区谷田52-1)
	2 開講式、オリエンテーション	静岡県危機管理監兼危機管理部長	20	10:30～10:50	
	3 南海トラフ巨大地震に備える 美しく、強く、しなやかな“ふじのくに”づくり	外岡 達朗 静岡県地震防災センター所長	90	11:00～12:30	
	4 <公開講座> 減災から防災社会の構築 ～巨大地震に備える地域社会～	岩田 孝仁 静岡大学防災総合センター長、教授	90	13:30～15:00	
	5 <公開講座> 見たくないものを正視して南海トラフ地震を克服する	福和 伸夫 名古屋大学減災連携研究センター長、教授	90	15:10～16:40	
9月4日 (水)	1 風水害の基礎	牛山 素行 静岡大学防災総合センター副センター長、教授	90	10:40～12:10	静岡県立大学 経営情報学部棟 4111講義室 (静岡市駿河区谷田52-1)
	2 風水害のメカニズム —被害とその対策—	市澤 成介 株式会社ハレックス参与(元気象庁予報部予報課長)	90	13:10～14:40	
	3 土砂災害と防災対策	池谷 浩 (一財)砂防・地すべり技術センター研究顧問	90	14:50～16:20	
9月10日 (火)	1 火山災害の基礎 静岡県周辺の活火山と防災	小山 真人 静岡大学防災総合センター副センター長、教授	90	13:10～14:40	静岡県立大学 経営情報学部棟 4111講義室 (静岡市駿河区谷田52-1)
9月11日 (水)	1 津波防災 静岡県第4次地震被害想定における津波被害 想定状況とその対策	原田 賢治 静岡大学防災総合センター准教授	90	15:20～16:50	
9月12日 (木)	1 都市防災	小川 雄二郎 元富士常葉大学環境防災学部教授 (現常葉大学社会環境学部)	90	10:40～12:10	静岡県立大学 経営情報学部棟 4111講義室 (静岡市駿河区谷田52-1)
	2 過去の災害に学ぶ —安全・安心まちづくり—	重川 希志依 常葉大学大学院環境防災研究科、教授	90	13:10～14:40	
9月18日 (水)	1 自然災害に対する危機管理 ～津波避難と避難生活～	吉井 博明 災害情報アドバイザー(東京経済大学名誉教授)	90	14:00～15:30	静岡県立大学 大講堂等 (静岡市駿河区谷田52-1)
	2 開講式	静岡県地震防災センター所長	30	15:40～16:10	
	3 <単位互換授業> 振り返り	岩田 孝仁 静岡大学防災総合センター長、教授	40	16:20～17:00	
10月20日 (日)又は 10月26日 (土) ※	1 災害图上訓練(D I G)	小村 隆史 常葉大学准教授	150	9:30～12:00	静岡県庁 別館5階 危機管理 センター
	2 避難所運営ゲーム(HUG)	倉野 康彦 HUG開発者 HUGのわ主宰	150	13:00～15:30	

※本講義計画の内容や順序については予定であり、変更になる場合があります。

※どちらの日程になるかは事務局で調整します。基本的には、どちらの日程でも受講できるようにしてく

ださい。

<任意講義> (希望者のみ)

日程	科目	講師等	時間	会場
9月4日 (水)	1 大規模災害における対応と対策 (道路編)	静岡県交通基盤部道路局道路保全課長	60	9:30~10:30
9月5日 (木)	1 静岡県の災害医療体制 (医療救護体制の概要)	静岡県健康福祉部医療健康局地域医療課長	60	9:30~10:30
	2 南海トラフ地震 —静岡の災害医療—	安田 清 掛川東病院	90	10:40~12:10
	3 阪神・淡路大震災における教訓 —消火・救出・救護等—	大西 康弘 元神戸市生田消防署長	90	13:10~14:40
	4 地震災害史	伊藤 和明 NPO法人防災情報機構会長	90	14:50~16:20
9月10日 (火)	1 原子力発電と原子力防災	山本 章夫 名古屋大学大学院工学研究科教授	90	9:30~11:00
	2 消火活動概論	静岡県消防学校教官	60	11:10~12:10
	3 災害時のインターネット利用	湯瀬 裕昭 静岡県立大学教授	90	14:50~16:20
9月11日 (水)	1 男女共同参画の視点からの防災	池田 恵子 静岡大学教育学部、防災総合センター教授	90	9:30~11:00
	2 避難生活における要援護者支援 ～地域の支え合い支援体制の構築～	江原 勝幸 静岡県立大学短期大学部准教授	90	11:10~12:40
	3 災害時のボランティア活動	鳥羽 茂 NPO法人静岡県ボランティア協会事務局長	90	13:40~15:10
9月12日 (木)	1 建築防災 (耐震化等)	静岡県くらし環境部建築住宅局建築安全推進課長	60	9:30~10:30
	2 企業防災 (事業継続計画等)	指田 朝久 東京海上日動リスクコンサルティング株式会社主幹研究員	90	14:50~16:20
9月18日 (水)	1 巨大地震等におけるライフラインの対策	県内ライフライン機関 (電力 (60) 10:00~11:00、通信 (30) 11:10~11:40、 ガス (30) 11:50~12:20、水道 (30) (13:20~13:50)	150	10:00~13:50
9月20日 (金)	1 <任意履修科目> 普通救命講習 ※希望者は午前・午後のいずれか1回受講	静岡市消防局 応急手当指導員	180	9:00~12:00 13:00~16:00

静岡県立大学
経営情報学部棟
4111講義室
(静岡市駿河区
谷田52-1)

* 本講義計画の内容や順序については予定であり、変更になる場合があります。

4 募集対象

単位互換協定校 (静岡英和学院大学、静岡大学、静岡県立大学、常葉大学、静岡理工科大学、沼津工業高等専門学校、浜松学院大学、静岡産業大学、静岡文化芸術大学)、及び南大阪地域大学コンソーシアム広域単位互換協定校の学生を対象とします。

定員は 30 人ですが、「静岡県ふじのくに防災士養成講座」の申込状況によっては、人数調整を実施する場合があります。

5 授業料 (聴講料)、入学科及び検定料

静岡県地震防災センター指定のテキスト代が 3,000 円かかります。なお、各集合場所までの交通費については、参加者負担とします。

6 出願資格

次の全ての項目に当てはまる学生。

単位互換協定校に在籍し、必修講義と必修演習を全て受講可能な学生。ただし、卒業年次の学生は、原則として受講できません。

7 出願手続き

別添の単位互換科目履修願により、在籍する大学の教務事務窓口に提出してください。
提出期間は、各大学に確認してください。

8 受講の決定通知時期及び方法

受講の決定通知は、在籍する大学を經由して、7月29日（月）頃に行います。

9 単位の認定

単位の認定は、在籍する大学の定めるところにより行います。
成績の証明は、在籍する大学で行います。
詳しくは、在籍する大学の教務事務窓口にお問い合わせください。

10 その他

- ・任意講義は希望者のみ。「静岡県ふじのくに防災士」の資格を取得したい場合は、任意講義を全て受講する必要があります。なお、それ以外の場合もいくつでも受講できます。任意講義の希望者のみ、履修願の別紙を、履修願と一緒に提出してください。
- ・「静岡県ふじのくに防災士」の詳細については、静岡県地震防災センターのホームページ (<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/e-quakes/index.html>) をご覧ください。

【問合せ先】 その他不明な点は、下記事務局までお問い合わせください。

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠3-6-1 もくせい会館2階
公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム事務局
電話 054-249-1818 メール mail@fujinokuni-consortium.or.jp